

自分を変える まわりが変わる 未来も変わる

knocks

ノックス葵

Vol.9

2021
Autumn

特集1

スタッフインタビュー

～はたらき心地がいい職場って?～

特集2

就労定着支援事業所

ノックスPLUS

をご紹介します

特集3

イベント覗き見隊!

プログラム
ピックアップ

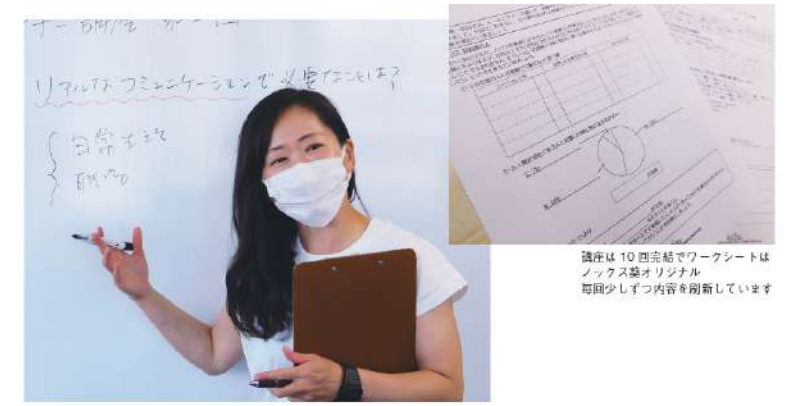
『マナー講座』



プログラムピックアップ⑧

マナー講座

ノックス薬のマナー講座は、参加者が経験をもとに意見を出し合いながら、どんな振る舞いが「マナーにかなっている」のかを考えるプログラムです。一般的なマナー講座のイメージとは少し違うかもしれませんが、皆で考えるからこそ実践に繋がりがやすいというメリットがあります。



講座は10回完結でワークシートはノックス薬オリジナル。毎回少しずつ内容を刷新しています。

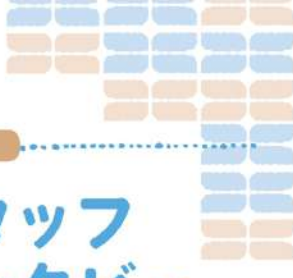
世の中には「マナーにかなっている」という物差しがあります。その物差しが指し示す範囲内で人々が動くことで、社会生活が穏やかになったり、人間関係を円滑に保つてくることができたりします。

わかりやすい例だと「行列に割り込んで並ばない」や「道端にゴミをポイ捨てしない」などでしょうか。

一方で、物差しの指し示す範囲内がわかりにくい例もあります。「髪や爪が伸びている」や「話し声がちょっと大き過ぎる」などがこれにあたります。どの長さがちょうどいいのか、そして、どの大きさが適切なのかといったことの感じ方が人それぞれ違うことが、わかりにくさの主な原因ですが、形や数字で表したりすることも難しいから厄介です。

ノックス薬のマナー講座では、

様々な就職活動シーンや、ビジネスシーンにおける「わかりにくい例」をピックアップして、参加者全員で「ちょうどいいところ」を考えていきます。グループワークを通して見えてくる「ちょうどいいところ」は、頭の中で一人度から検証された結果です。いつも何気なく行っていた自分の行動が知らない間に他の人を不快にしていたことや、自分がとても不快に感じていたことが意外と多くの人に与っては取るに足らないことだったという気づきをもたらしてくれることもあります。皆で見つけた「ちょうどいいところ」は、きっと参加者それぞれの記憶に残って、これからの生活のヒントとなっていくと思います。



特集1

スタッフインタビュー

落合編



利用者さんには、自分なりの「はたらき心地」の条件を見つけつけてほしいです

はたらき心地がいい職場って？

「ノックス薬が何社目の勤務先になりましたか？」
 3社目です。転職する中で、長期就労のために「はたらき心地」が大事だと感じていました。

「求職の仕方で『はたらき心地』とは「居心地がいい」という感覚に近いです。ノックス薬は私にとっては「はたらき心地がいい」のですが、そのポイントは①仕事にやりがいがあること、②同僚や

上司とコミュニケーションが取りやすいこと、③会社の中で自分の未来像がイメージできること、です。

「今あげた三つのポイントのうち、利用者さんが働く時に一番大事だと思われるのはどれですか？」

「一番はコミュニケーションの取りやすさです。初めての仕事はわからないことだらけで、聞かないと仕事が進んでいきません。しかし過去の職場では「これくらい説明しなくてもわかるよね、自分でやっておいてね」という社風で、なかなか周囲に聞くことができなくて仕事が進まず、困ることが多くありました。相談できる相手がいることは大事です。利用者さんにはいつもコミュニケーションが大

事だと伝えていますが、それは実体験に基づいています。

「求人検索をする時に、求人票を見ても職場の雰囲気まではわかりませんよね。そうですね、求人票だけで雰囲気までは読み取れないので、見学や実習に参加してから入社を決めてほしいなと思っています。特に実習は、実際に働くことになり人たちが関わることがあるので、就職後のイメージがより明確にできていいですね。ただ「コミュニケーションが取りやすい」という感じ方は人それぞれ違います。ある利用者さんの実習先は年上の方が多く職場でした。私が見たところ、年上の方が優しく仕事を教えてくださっていたのでいい環境だなと思ったのですが、実習後に利用者さんに感想を聞いたところ「年上の方だからプレッシャーを感じる。相談できそうにない」という感想でした。人それぞれ「はたらき心地」は違うので、支援員の意見を押し付けられることはありません。一番大事なのは利用者さん本人の感じ方なので、それを尊重します。ですが、「私から見て話しやすそうなお方に見えたよ」という意見はちゃんと伝えて、多面的に考えてほしいと思います。

Profile

落合（おちあい）

「就労準備度を認めるための実習」と「就労が見込まれる実習」の調整や同行に奔走。ダメエイトと称して小さいお弁当を準備しているが、こよなく愛する「甘いお菓子」で全てが相殺されている。（とスタッフは思っている）

就労定着支援事業所 ノックスPLUSをご紹介します

knocks
ノックスPLUS

就労定着支援事業所は、就労移行支援事業所をはじめとした福祉サービスを経て就労し、入社から6カ月経過した方が利用できるサービスです。また、3年の利用期限があります(就労した日から、3年6カ月後が利用期限です)。

これは、私たちの事業名称に置き換えると「ノックス葵」から「ノックスPLUS」への展開となります。

就労定着支援の目的

就労後しばらく経つと、それまで想像していなかった悩みや課題が見つかることがあります。そういった時に本人が働きやすい環境を作り、就労継続を目標にその人その人に合わせた支援を行うのが「ノックスPLUS」です。

本人・就労先・ノックスPLUSの三つのトライアングルが繋がること、「就労後の早期離職」(厚生労働省の調査では1年以内の離職が3割と発



働き始めると相談内容の幅がひろがります

具体的な支援方法

①定期的な3者面談(本人+現場の担当者+ノックスPLUSスタッフ)
②定着支援計画書の作成
③支援レポートの作成・送付
④本人や家族からの就労以外の(生活面など)での相談
⑤病院、他の支援機関との連携など

3者面談では、現在の困り事を確認し、日々起こる小さな悩み事を含めて解決できるように働きかけます。

ノックスPLUSが目指す 就労定着支援

就労先がそれぞれ違うように、就労定着支援のケースも二つとして同じものはありません。定着支援の面談は本人だけではなく、就労先の人事や現場の担当者とも実施します。面談のペースは、2週間に1回になるのか、1カ月に1回になるのか、3カ月に1回になるのかかわりません。当然ながら、安定して勤務している方に対して意味もなく頻りに面談することはしないようにしています。

逆に、就労当初や現場の担当者の異動・変更、職場環境の変化が大きい

時は、支援の量(面談の回数)が必然的に増えていきます。支援の量が減るのは、本人が仕事を覚え、主体的に仕事に取り組み、安定した状態で就労先に馴染んだ頃です。問題の解決を本人が就労先の上司や同僚に自ら相談し、解決できる状態になるのが最終目標の一つです。

化があり、同様に職場環境にも変化があります。そして、次第に私たちよりも現場の担当者の方が本人との関わりが長くなっていくこととなります。自身の個性を活かし、さらに戦力になり、社会の変化にも対応していけるような土台作りをサポートできるように、これからも頑張っていきたいと思えます。



得意を活かして活躍中です



事例紹介

事例1

30代(勤務3年9カ月)

就労が安定するに伴い、人生の次のステップ(自分の家庭を持つこと)を考える余裕が出てきたケース。一時期は、相談内容が仕事のことよりも恋愛相談に傾いていたような気がします。丁寧に時を重ねる様子を見守り、その結果、結婚という報告を貰った時には、スタッフ全員で大喜びしました。もしかしらご両親よりもスタッフの方が本人のエピソードを多く知っているかも知れません(笑)。最近さらに次のステージである「家庭の悩み」が相談事に登場するようになりました。

事例2

20代(勤務2年10カ月)

新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでのルーティン作業が激減。就労先より、業務の確保が難しい旨の相談を受けていました。同時に本人からも仕事もうまくいかなかったと相談を受けており、本人だけでなくご両親ともオンラインで面談を行いました。半年以上の時間をかけて今後について話し合いを重ねた結果、退職した方がいいのではないかと結論に。最終的には全者一致で本人に合った転職先探し(就労移行の再利用含め)をすることで決定しました。このように単に就労継続するためだけではなく、本人の未来を見据えた支援が必要になる場合もあります。

事例3

50代(勤務3年3カ月)

就労して1年過ぎた頃から相談内容にご家族のことについての相談事が増えてきました。父に認知症の症状が出始めたとのこと。もともと相談事が苦手な方だったため、父の症状が悪化するも、どこに電話をすればいいのか、電話で何をどう説明すればいいのか難しいと訴えられました。相談先として地域包括支援センターの情報提供を行い、本人に代わって初回面談の約束を取り置き、ようやくセンターに相談することができました。現在は安定した生活(仕事も含め)を送っています。その方の生活面の困り事に対応することが、安定した就労継続には大切でした。



内覧会日程については本誌裏表紙で詳細をご確認ください



2021年初冬 ノックスVITS豊田を オープン予定!

ノックス豊田の開所からおよそ6年、主に発達障害・精神障害の方の就労をサポートしてまいりました。

千種駅近くというアクセスのよさから、現在、名古屋市はもとより、愛知県尾張方面・三河方面、岐阜県・三重県の本場にたくさんのお客様から通所していただいています。中には毎日、少なくない時間とお金をかけてお越しになる利用者さんもおられ、私たちの中で次第に「もう少し地域に根付いた活動ができ



現在給食リノベ中。少々年季の入った設備ですが、きちんと全面補修されています



ないだろうか」と考えるようになりまして。三河地区の豊田市に新しい事業所をオープンするのは、こうした私たちの活動への思いを形にする第一歩となります。事業所内覧会を予定しておりますので、ご興味のある方は是非お越しください。

向日葵⑦

自分が元気になるのは、ほんの些細なことだったりする。ぐっすり眠れたとか、天気晴れたとか、卵を割ったら黄身が二つあったとか……。それだけで、何かいいことがあるような気になる。おまじないのようだけれど。だって、毎日楽しいことだけじゃなしんどいことや、つらいことがあるから。しんどい時に、しんどいことをずっと考えていても、何も変わらない。そんな時は、普段は控えているお菓子と思う存分に食べたり、目的を考えずに電車に飛び乗って、行ったことのない場所を目指してみたりする。無理に眠ろうとしないで、眠くなるまで音楽を聴いてみたりする。思い切って自分にまわりつく枷を外してみるのだ。そうすると「ああ、そうか私は不自由だったんだ」と感じる。食べたいだけ食べてられないし、好きなように行きたい場所に行くこともできないし、眠りたい時間に眠ることさえできない。たとえ遅くまで起きていても、翌朝にはいつもと同じ時間に起きて、また新しい1日を始めなければならない。だけれども、目覚めるとそこにはまっさらな1日がある。そして気がつけば、その新しい日を楽しみ私がある。特別なことがあるわけじゃないけど、同じ日は1日としてないから。

(スタッフ 毛利)



<夏企画> りんご飴作り



りんごに割りばしを刺す作業に苦戦しました

皆さんは「夏の思い出」といわれたら何を思い浮かべますか?

プール、かき氷、スイカ、ラジオ体操、花火……。

昨年に引き続き、今年も各地のお祭りや夏のイベントが中止や延期となっています。

こんなご時世ですが少しでも夏を感じてもらうため、

<夏企画>として「りんご飴作り」を行いました。



まずは作り方をレクチャー。りんご飴は、割りばしを刺したりりんごに飴をかためて作ります。鍋で飴を沸騰させ150℃まで温度を上げるので、火傷をしないようにしっかりと注意事項をお伝えしました。作り方の一番のポイントは「火にかけたたら湿せないこと」です。ここで温てしまつと飴(砂糖)が結晶化してジャリジャリになってしまいます。飴が沸騰している様子を眺めているとつい混ぜたくなりますが、絶対にガマンです。

変わり種のプチトマトが好評!

りんご飴レシピ

- ①りんごを洗い、水気をしっかり拭く
- ②りんごに割りばしを刺す
- ③砂糖30gと水100mlを鍋に入れてよく混ぜる
- ④鍋を強火にかけ、沸騰したら中火に弱める
- ⑤飴が150℃になったら火を消す
- ⑦鍋にりんごを入れ飴をかため、クッキングシートの上に置いて冷やす

今回はりんごだけでなく、ブドウやチエリー、変わり種としてはプチトマトを準備しました。それぞれ好きな果物に飴をかため、冷まします。ずらりと並んだツヤツヤのりんご飴やフルーツ飴、見ているだけでもワクワクする光景でした。来年にはお祭りができるような世の中になるようにとの願いも込め、写真に収めました。

就労移行支援事業所

knocks
ノックスVITS豊田

ノックスVITS豊田 新規オープン

2015年10月に名古屋市東区で産声を上げたノックス葵。多くの方にご支援をいただき、この度新規事業所をオープンいたします
発達障害・精神障害などがある方やコミュニケーションが苦手な方、新しい扉をノックしてみませんか？



新規オープン内覧会

参加費無料

事前予約制
(各回15名程度)

開催日時

2021年11月24日(水)～11月27日(土)

第一部: 10:30～11:30 第二部: 13:30～14:30 第三部: 15:30～16:30 (24日(水)～26日(金)のみ)

開催内容

- ・事業所見学
- ・ミニプログラム体験
- ・個別相談

対象となる方

- ・障害のある方やそのご家族
- ・学校関係、医療関係、その他支援機関の方

場所

〒471-0025
愛知県豊田市西町5丁目5 VITS豊田タウン2F
(名鉄豊田市駅西口より徒歩5分)

お問合せ

電話 052-930-5216

メール info@knocks-u.jp

予約は
QRコードから
お願いします

